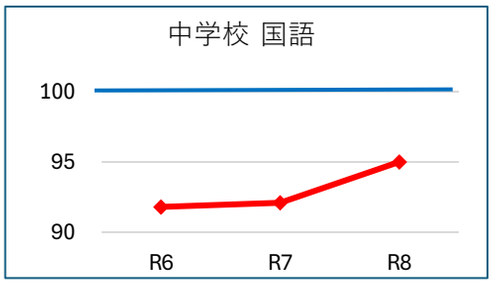
令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果分析（中学校）について

【 国　語 】

● 平均正答率

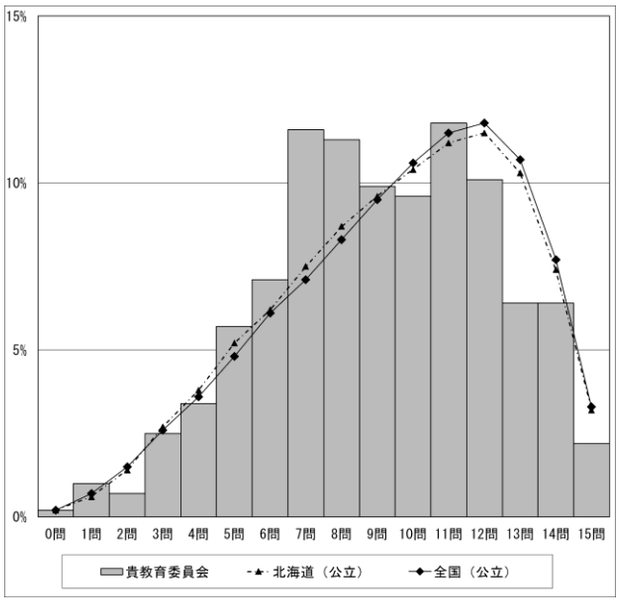
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	9.6/15問	63.9%	やや低い （－３％以上～－５％未満）
全道	9.5/15問	63.3%	同様下位 （－１％以上～－３％未満）

● 経年変化

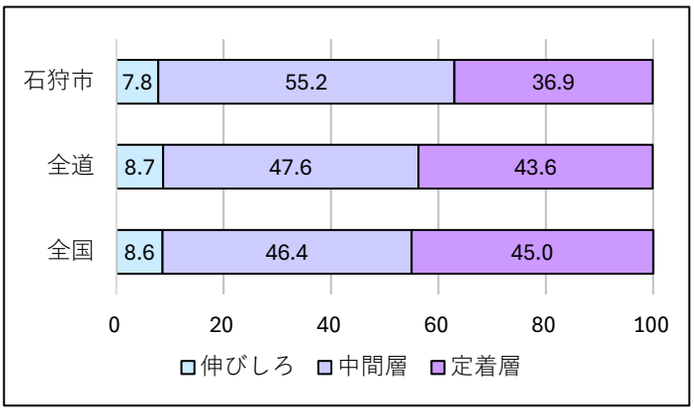


※全国平均を100とする

● 正答数分布

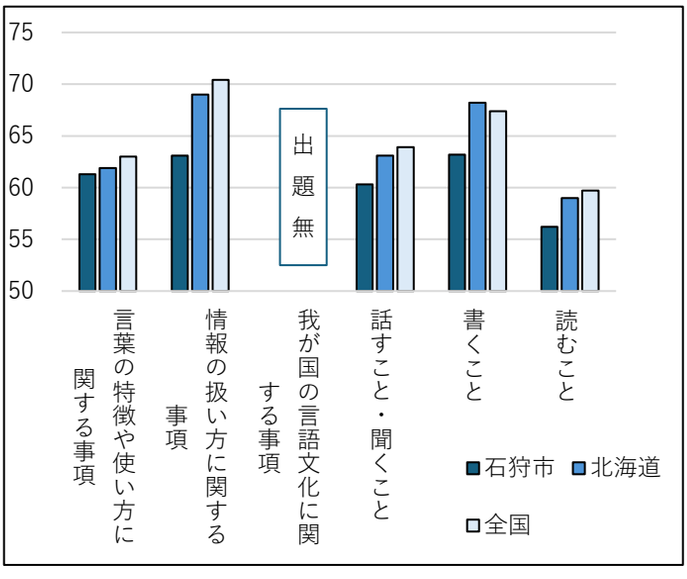


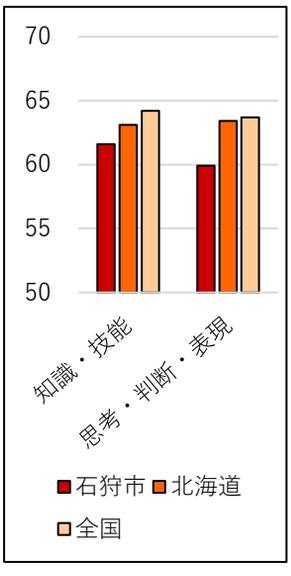
● 三層割合

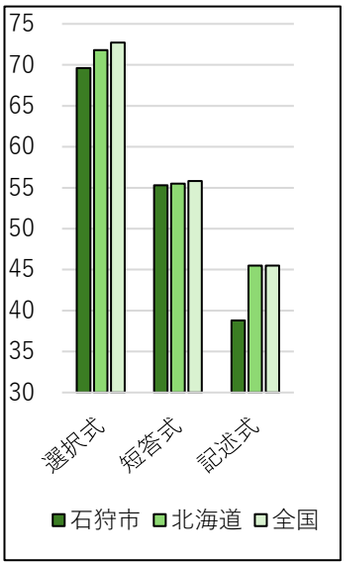


伸びしろ層：正答数０～４問
中間層：５～１０問
定着層：１１～１５問

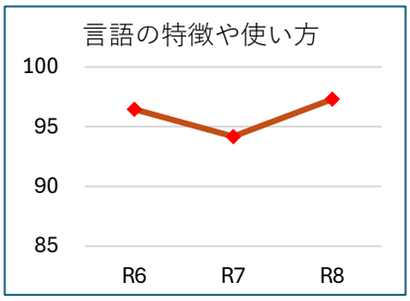
● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率

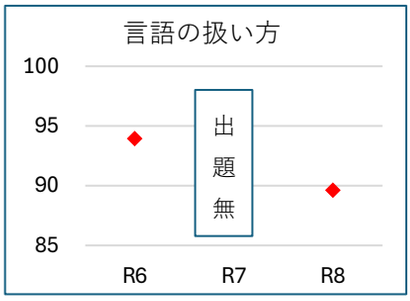


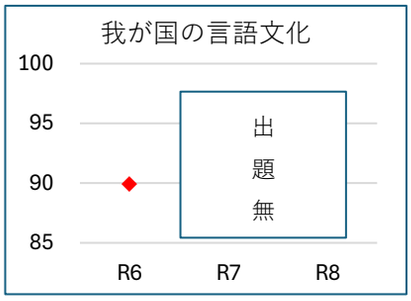


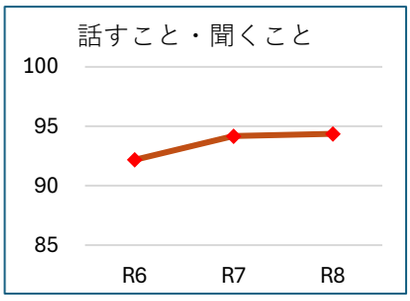


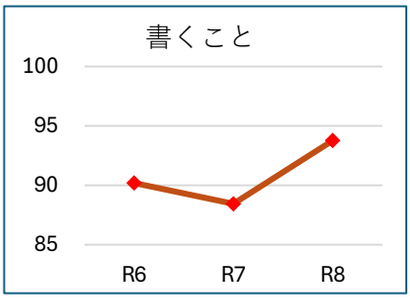
● 領域等の経年変化　※全国平均を100とする

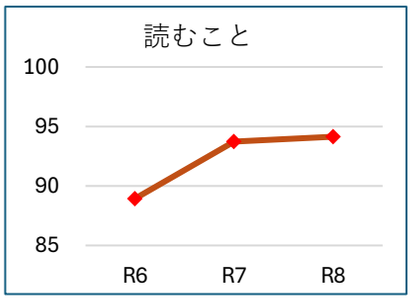












● 結果の概要

◇国語の正答率は全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）の結果でした。
　令和７年度との比較すると、上昇しました。
◇領域別「知識及び技能」についての結果です。
　「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国とほぼ同様（下位）、全道と同様
　「情報の扱い方に関する事項」は、全国より相当低く、全道より低い
　「我が国の言語文化に関する事項」は、出題無し
◇領域別「思考力、判断力、表現力等」についての結果です。
　「話すこと・聞くこと」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「書くこと」は、全国よりやや低く、全道より低い
　「読むこと」は、全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
◇問題形式別についての結果です。
　「選択式」は全国よりやや低く、全道とほぼ同様（下位）
　「短答式」は全国・全道と同様
　「記述式」は全国・全道より低い

● 調査問題の内容

　学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕、〔思考力、判断力、表現力等〕の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、中学校第２学年までの内容となっています。
（例）
■文中の「投げられる」の単語の類別について説明したものとして適切なものを選択する。
■話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く。
■書いた文章について、読み手からの助言を踏まえてよい点や改善点を見いだす。
■文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	北海道	全国
１三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	単語の類別について理解しているかどうかをみる	言葉の特徴や使い方に関する事項	82.0	84.7	85.4
３二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる	書くこと	91.1	92.4	92.3

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	全国	全国との差
２三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	情報の扱い方に関する事項	63.1	70.4	-7.3
２四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる	話すこと・聞くこと	42.9	52.7	-9.8

● 指導の改善

【問題番号２三　情報の扱い方に関する事項】

○ 話合いを円滑に進めるために、それぞれのもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすること大切です。情報の整理の仕方を理解し、実際の話合いの中で使うなど、各領域の学習との関連を図ることが重要です。

・情報と情報を線や矢印で結び付けたり、丸や四角などの枠で囲んでグループに分けたりするなど、聞いたり読んだりして得た情報や自分のもっている情報を、図や絵、記号などを用いて整理することが効果的です。また、目的や意図に合わせて、情報の表現の仕方を工夫することも大切です。

【問題番号２四　書くこと】

○互いの立場や考えを尊重しながら話し合うためには、話合いに参加している者が、それぞれの置かれた立場や意見が出された背景について理解しながら話したり聞いたりすることが重要です。

・結論を導くために考えをまとめるには、一方的に自分の考えを主張するのではなく、互いの考えを捉える中で見いだした共通点や相違点、新たな提案などを踏まえて、話合いが進展するように、自分の考えが伝わるような発言をすることが大切です。

● 国語に関する意識調査（生徒質問調査項目44～51、国1より）

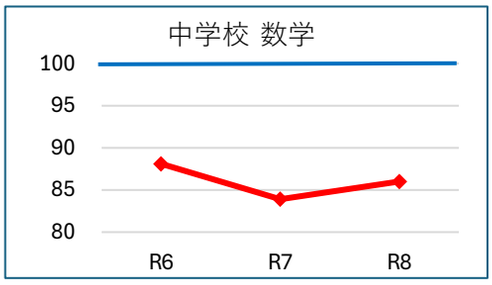
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
44	国語の勉強は得意ですか	54.5	51.6	2.9
45	国語の勉強は好きですか	57.8	57.2	0.6
46	国語の授業内容はよく分かりますか	73.8	76.8	-3.0
47	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.2	88.2	-1.0
48	１．２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えくれますか	77.5	73.0	4.5
49	１．２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	78.9	71.8	7.1
50	１．２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか	88.1	84.8	3.3
51	１．２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか	79.7	76.1	3.6
国1	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	74.9	72.4	2.5
	３問あった記述式問題の無解答率の平均	15.0	14.7	0.3

【 数　学 】

● 平均正答率

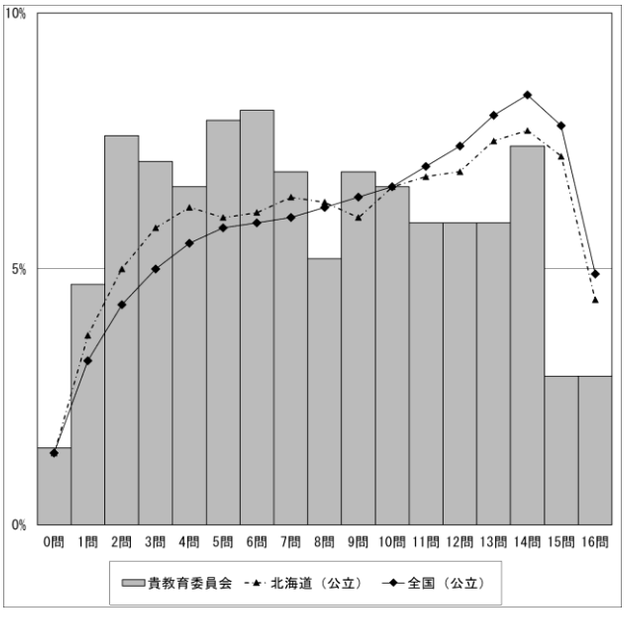
	平均正答数	平均正答率	石狩市（全国、全道との比較）
全国	9.1/16問	57.0%	相当低い （－7%以上）
全道	8.8/16問	55.0%	低い （－５％以上～－７％未満）

● 経年変化

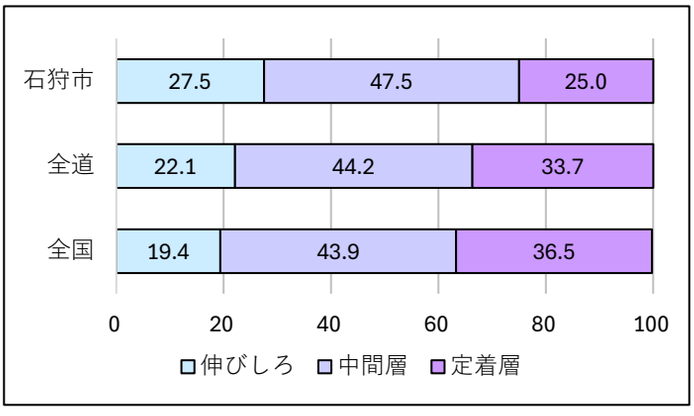


※全国平均を100とする

● 正答数分布

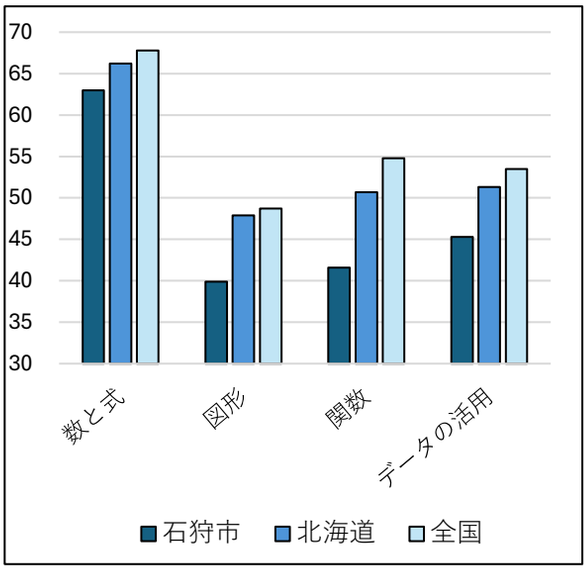


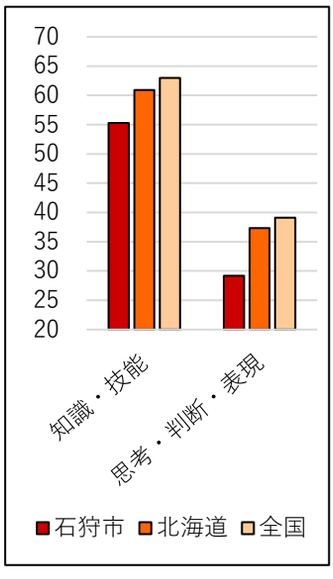
● 三層割合

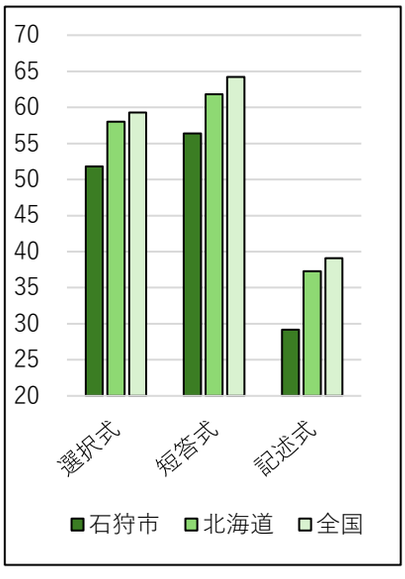


伸びしろ層：正答数０～４問
中間層：５～１１問
定着層：１２～１６問

● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率

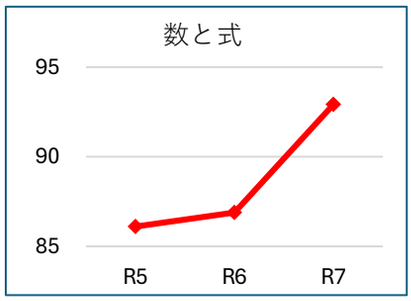


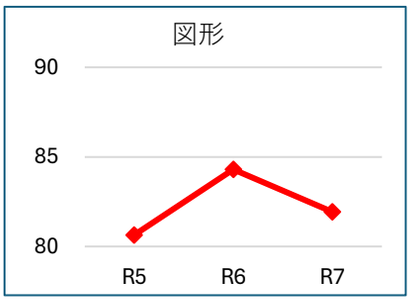


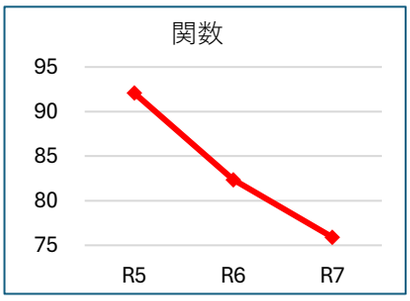


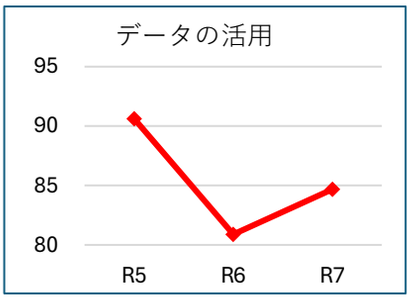
● 領域等の経年変化

※全国平均を100とする









● 結果の概要

◇数学の平均正答率は、全国より相当低く、全道より低い結果でした。
　令和７年度との比較では、若干上昇しました。
◇領域別についての結果です。
　「数と式」は、全国、全道よりやや低い
　「図形」「関数」は、全国、全道より相当低い
　「データの活用」は、全国より相当低く、全道より低い
◇問題形式別についての結果です。
　「選択式」「短答式」は全国より相当低く、全道より低い
　「記述式」は、は全国、全道より相当低い

● 調査問題の内容

　学習指導要領における、「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、中学校第２学年までの内容となっています。
（例）
■四角形ＰＱＲＳにおいて、ＰＳ∥ＱＲを示すための根拠となる二つの角を選ぶ。
■手順にしたがってできたＡとＢについて、Ａ－Ｂの値がどんな数になるかを、選んだ２数の差に着目して説明する。
■データ量が１０００ＭＢになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する。
■ ＡＢ＝ＡＰ、ＯＢ＝ＯＰならば∠ＡＯＢ＝∠ＡＯＰであることを、三角形の合同を基にして証明する。
■ 「就寝時刻が２３時より前の生徒と比べて、２３時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する。
■設問数は１６問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	北海道	全国
1	２月３日のＡ市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる	数と式	86.7	85.3	85.7
6（1）	選んだ２数が３と６のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる	数と式	68.8	71.8	73.2

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	全国	全国との差
4	反比例の表において、ｘの値が－３のときのｙの値を求める	反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めることができるかどうかをみる	関数	36.1	55.3	-19.2
7（2）	データ量が１０００ＭＢになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる	関数	23.1	33.9	-10.8
8（2）	図１において、ＡＢ＝ＡＰ、ＯＢ＝ＯＰならば∠ＡＯＢ＝∠ＡＯＰであることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる	図形	33.7	46.1	-12.4
9（2）	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる	データの活用	65.1	75.8	-10.7

● 指導の改善

【問題番号４　関数】

○ 反比例の表から二つの数量の変化や対応の特徴を捉えたり、それらの特徴を基にｘの値に対応するｙの値を求めたりする活動を取り入れ、反比例の意味の理解を深めることができるように指導することが大切です。

・ 本問を使って授業を行う際には、、ｙ＝ａ/ｘという式で表されることや、「ｘの値が２倍、３倍、･･･になると、ｙの値が １/２ 倍、１/３ 倍、･･･になる」や「ｘとｙの積が一定である」といった性質を基にした説明を取り上げることを通して、反比例について振り返ることができるようにすることが大切です。

【問題番号７（２）　関数】

○ 様々な問題を数学を活用して解決する際に、問題解決の方法に焦点を当て、例えば、表、式、グラフなどの「用いるもの」と、それらを問題解決するためにどう用いたかといった「用い方」について考え、数学的な表現を用いて説明できるように指導することが大切です。

・ 本問を使って授業を行う際には、表に示された数値から変化や対応の様子を捉えたり、グラフに示された点の並びに着目したりするなどして、二つの数量の関係を比例と仮定して考えられるようにすることが大切です。

【問題番号８（２）　図形】

○ 事柄が成り立つことを証明できるようにするためには、証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論を数学的に表現できるように指導することが大切です。

・本問を使って授業を行う際には、手順で元の角の2倍の大きさの角が作図できる理由を説明する活動を取り入れることが考えられます。また、証明を書き終えた後に、筋道を立てて説明できているか、根拠は明確であるか、記号や用語の使い方は適切かなどの視点で、証明を振り返る活動を取り入れることも大切です。

【問題番号９（２）　データの活用】

○ 複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動を通して、箱ひげ図の必要性と意味を理解できるように指導することが大切です。

・ 本設問を使って授業を行う際には、「学年別睡眠時間の箱ひげ図から、どのような特徴が読み取れるか」について考察することを通して、四分位数などの必要な値を読み取る活動を取り入れることが考えられます。

● 数学に関する意識調査（生徒質問調査項目60～67、数1より）

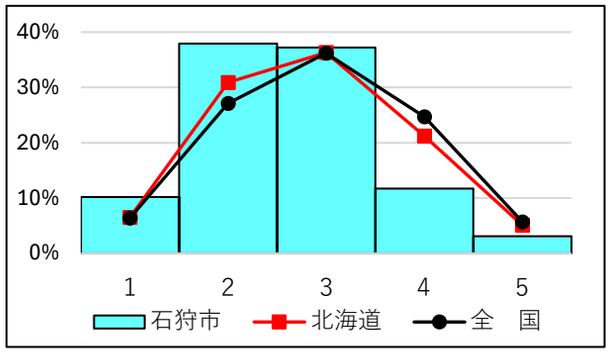
質問内容		肯定的な回答%		全国との差%
		石狩市	全国	
60	数学の勉強は得意ですか	33.6	48.5	-14.9
61	数学の勉強は好きですか	44.8	56.1	-11.3
62	数学の授業内容はよく分かりますか	53.5	74.2	-20.7
63	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	67.1	76.5	-9.4
64	１．２年生のときに受けた授業では、数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか	61.0	63.0	-2.0
65	１．２年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	74.3	77.8	-3.5
66	１．２年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	56.9	60.4	-3.5
67	１．２年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか	57.8	68.4	-10.6
数1	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」と回答	53.6	57.6	-4.0
	４問あった記述式問題の無解答率の平均	35.3	29.3	6.0

【 英　語 】

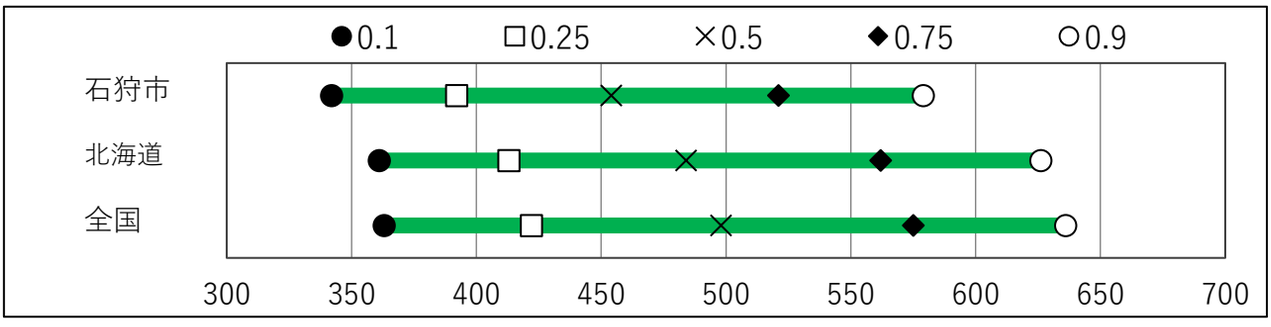
● 平均ＩＲＴスコア

	平均IRTスコア	石狩市（全国、全道との比較）
全国	499	相当低い （－35以上）
全道	490	低い （－25以上～－35未満）

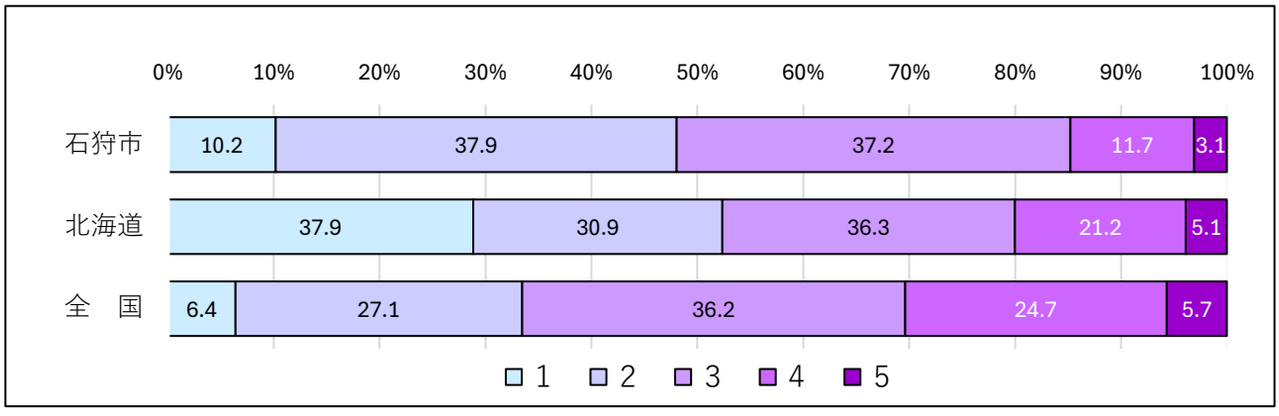
● ＩＲＴバンド分布グラフ



● ＩＲＴスコア分布グラフ

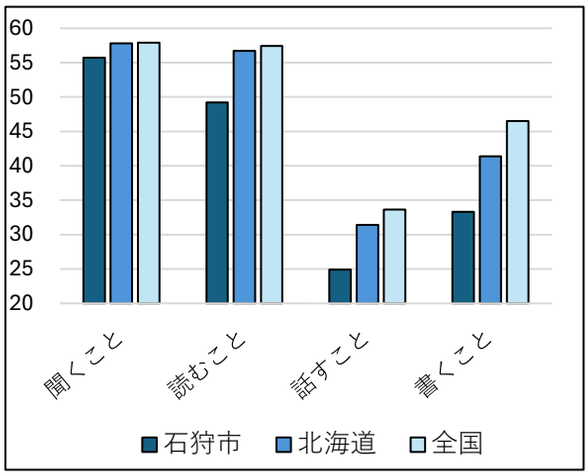


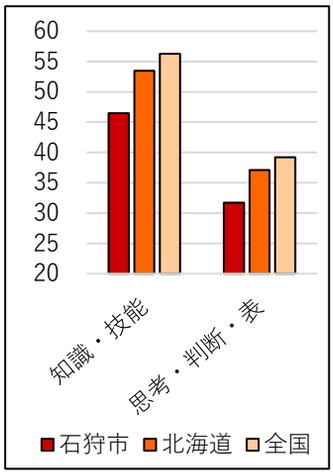
● ＩＲＴバンド分布比較

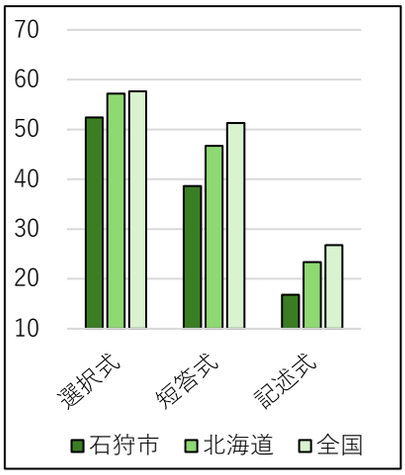


● 領域等、評価の観点、問題形式の平均正答率

（市内全生徒に実施した共通問題９問の結果）

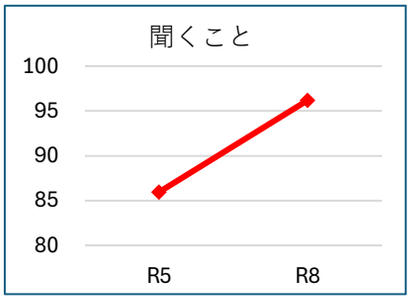


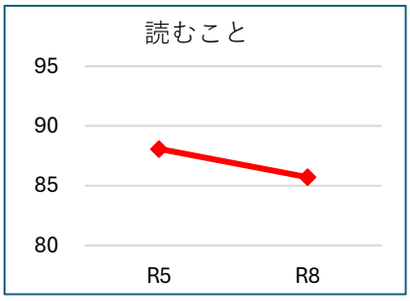


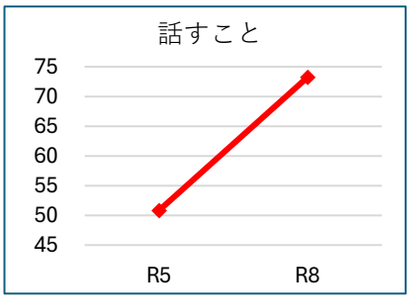


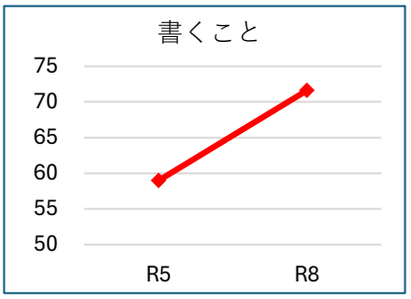
● 領域等の経年変化

※全国平均を100とする









● 結果の概要

◇平均ＩＲＴスコアでは、全国より相当低く、全道より低い結果でした。
◇ＩＲＴバンド分布は、「２」に山があり、「４」「５」が全国、全道より少ない。
◇市内全生徒に実施した共通問題９問における領域別では、「聞くこと」は全国、全道とほぼ同様（下位）、「話すこと」は全国より相当低く、全道より低い、「読むこと」「書くこと」は全国、全道より相当低い結果でした。
◇市内全生徒に実施した共通問題９問における問題形式の正答率では、「選択式」で全国より低く、全道よりやや低い、「短答式」は全国、全道より相当低い、「記述式」は全国より相当低く、全道より低い結果でした。

● 調査問題の内容

学習指導要領に示されている５つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」）別の目標及び内容に基づき、全ての領域から出題している。なお、中学校第２学年までの内容となっています。

（例）

■ 話を聞き、概要を捉える（「聞くこと」の領域）
■ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る（「読むこと」の領域）
■ 短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く（「読むこと」、「書くこと」の領域）
■ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話す（「話すこと[やり取り]」の領域）
■ 話を聞いて、考えとその理由を話す（「話すこと[発表]」の領域
■共通設問数は９問です。

● 成果の見られる問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	北海道	全国
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	聞くこと	60.5	60.0	60.2

● 全国平均と差がある問題例

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	平均正答率％		
				石狩市	全国	全国との差
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	読むこと	55.9	67.3	-11.4
10（2）	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	書くこと	16.0	27.8	-11.8
11②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	書くこと	34.6	52.7	-18.1

● 指導の改善

【問題番号６　読むこと】
○ 短い文章から情報を読み取るためには、文構造を適切に捉えることが大切です。
・英文を読む際には、主語と動詞、副詞句、前置詞句などの意味のまとまりを捉えながら読ませることが考えられます。修飾によって主語が長くなったり文の構造が複雑になったりしても、意味のまとまりを捉え、情報を読み取ることが大切です。

【問題番号10（２）　書くこと】
○ 読んだことを基に、その内容に関する自分の意見や感想などを書く際には、主張とその理由を明らかにしたり、順序付けを行ったりすることにより、読み手にとって分かりやすい文章を書けるようにすることが重要です。
・指導に当たっては、文章を読んで要点を確認した後、自分の考えをキーワードとしてメモなどに整理させたり、思考ツールに整理させたりすることが考えられます。例えば、書き手の意見に対して賛否をメモに書かせたり、賛成の場合は、理由も同じなのかどうか、反対の場合は、その理由をメモに整理させたりすることが考えられます。

【問題番号11②　書くこと】
○ 正確に書くことができるようにするためには、既習の文法事項などを適切に使い分けて表現することが重要です。
・指導に当たっては、新しい文法事項などを扱ったり、言語活動を行ったりする際に、関連のある文法事項をまとめて整理し、違いを理解することが大切です。例えば、現在進行形の特徴やきまりを学習する際には、現在形との違いを整理して使い分けたり、to不定詞の特徴や決まりを学習する際には、動名詞との違いを整理して使い分けたりさせることが考えられます。

● 英語に関する意識調査（生徒質問調査項目69～80、77は一部回答）

質問内容		肯定的な回答％		全国との差％
		石狩市	全国	
69	英語の勉強は得意ですか	33.4	39.5	-6.1
70	英語の勉強は好きですか	48.7	51.2	-2.5
71	英語の授業の内容はよく分かりますか	53.5	64.2	-10.7
72	英語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	83.5	87.6	-4.1
73	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	34.6	34.1	0.5
74	キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか	73.9	76.7	-2.8
75	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	30.5	36.6	-6.1
76	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか（週１回程度以上）	15.0	25.5	-10.5
78	１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか	80.9	85.1	-4.2
79	１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	79.5	82.8	-3.3
80	１、２年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか	55.0	61.3	-6.3